

# 国内研修事業に参加して



## 国内研修を通して

盛岡市立松園中学校

帷子 七風

僕は今回の国内研修でたくさん学びの思い出ができた。

初日、空港でみんなと合流したときは、みんながとても怖く見えた。知らない人と5日間を共に過ごすことに不安と緊張でいっぱいだった。でも、勇気を出して声をかけてみると、みんないい人たちばかりだ。その時、さっきまでの不安と緊張が一気にわくわくに変わり、僕は積極的に行動を起こすことの大切さを痛感した。この日は琉球古典音楽の演奏を聴いた。とても迫力がありかつこよかった。人前で堂々と歌い、楽器を演奏する姿は普段の学校生活での参考になった。初日が終わり、2日目、3日目と次第に食事中や班での活動に会話が増え

てきた。

4日目には班ごとに分かれ、「10年後、地球の全ての人々が幸せになっているために私達にできることは？」について話した。とても難しかったし、正直中学生が話す内容にしては重すぎると感じた。話し合いが終わり、最後に班で話し合った内容を発表した。発表を聞いたあと、会長が言ったことに僕は深く共感した。「問題解決のうえでリスクや代償はつきものである。」という言葉だ。リスクや代償はその人の立場や環境によって内容は違うけど、その部分をお互いにすり合わせていいバランスを見つけなければならぬと思う。でもそれが難しいから、いまでも争いが絶えない世界なんだと思った。

5日目、みんなと別れてとても寂しかった。でも、みんなとの思い出は一生の宝物だし、忘れることはない。今回の国内研修で、たくさん仲間とサポートしてくれたたくさんの方々、沖縄の文化や



魅力について学ぶことができてとても楽しかった。「地域の魅力を感じ、地域とともに成長する」この言葉を胸に、これからの人生頑張っていきたいと思う。

最後に一緒に学んで笑って過ごした仲間、サポートしてくれた皆さん、皆さんのおかげでこの5日間で大きく成長することが出来ました。本当にありがとうございます。



## 文化が合わさる

一関第一高等学校附属中学校

藤井 美緒

今回の研修では、本州から来た文化がどのように変化し

たのかや、本州と沖縄の文化の特徴の違いに着目して学習しました。教科書や参考書には文化がどのように変化した経緯と結果しか記載されていない事が多く、文化が変化したときに関わっていた人々の体験や学びを知る機会は殆どありませんでした。しかし、研修に参加したことで、知るだけでなく実際に体験することができました。

私が一番印象に残っているのは、琉球古典芸能のエイサーです。前日に見た琉球古典舞踊とは違った美しさや華やかさが見られ、盆踊りと琉球古典音楽の二つの文化が組み合わさってできたことを実感できました。教科書の中でしか学べなかったことが新たな情報や経験が加わったことで理解が深まりました。異なる魅力が合わさることで新たな文化の特徴になると知りました。

踊りながら締太鼓を叩くのは難しくどちらか一方に意識が行ってしまうともう一方が疎かになることがあります。しかし、練習を重ねることでエイサーを行うだけではなく見ている人に想いを伝えるにはどうしたら良いのかと考える余裕も生まれてきました。エイサーが益の時期に踊る沖

縄の人にとって大切な伝統行事のひとつであると知ったときは自然と笑みがこぼれました。大切にされてきたからこそできる洗練された動きに目が奪われたからです。一つひとつの動作に想いが込められているのだらうと思いました。

4日目に行われた新垣さんの講話では、地域で活躍するために必要な考え方を学びました。ポジティブ思考から生まれる0からの創造は誰もが一度は驚くものになり、圧倒されるのだと思いました。私は今までにない新たなものを発想することが苦手なので内容の濃い講話を聞いて得られたものが多かったです。

この5日間は私にとって充実した物で忘れられない思い出となりました。この経験を人生の選択肢の一つに繋げたいです。

